

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	資産管理会計論Ⅱ	履修	必履修
担当講師	佐々木茂		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	70		単位時間
授業計画	4月	資産・負債会計の会計処理	
	5月	損益・純資産会計の会計処理	
	6月	新しい会計基準における会計処理	
	7月	会計処理の実践面の演習等	
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次に学んだ簿記の基礎を基に、より応用的な会計処理を学ぶ。		
授業目標	応用的な簿記会計処理の習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	簿記論応用	履修	必履修
担当講師	佐々木茂・工藤正剛		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	120		単位時間
授業計画	4月	会計学と商業簿記の構造	
	5月	資産・負債の会計	
	6月	損益・純資産の会計	
	7月	新会計基準の会計①	
	8月	新会計基準の会計②	
	9月	総まとめ	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次に学んだ簿記の基礎を基に、簿記の知識の応用面を学ぶ。		
授業目標	簿記関連応用論点知識の定着を図る。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	簿記論演習	履修	必履修
担当講師	佐々木茂・工藤正剛		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	70 単位時間		
授業計画	4月	会計学と商業簿記の構造に関する演習	
	5月	資産・負債の会計に関する演習	
	6月	損益・純資産の会計に関する演習	
	7月	新会計基準の会計①に関する演習	
	8月	新会計基準の会計②に関する演習	
	9月	総まとめ	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次に学んだ簿記の基礎を基に、簿記(商業簿記・会計学)の応用を学び、将来の会計関連の仕事に活かす。簿記論応用で学んだ知識を演習を通じて確実なものとする。		
授業目標	簿記関連応用論点知識の定着を図る。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	財務諸表論応用	履修	必履修
担当講師	佐々木茂		
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (元企業の財務担当・資格取得者)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	180		単位時間
授業計画	4月	財務諸表論の基礎	
	5月	貸借対照表の作成・理論	
	6月	損益計算書の作成・理論	
	7月	株主資本変動計算書・理論	
	8月	キャッシュ・フロー計算書・理論	
	9月	その他の財務諸表知識	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次に学んだ簿記の基礎を基に、財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)の応用を学ぶ。		
授業目標	財務諸表論関連応用論点知識の定着を図る。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	財務諸表論演習	履修	必履修
担当講師	佐々木茂		
担当講師の実務経験の有無	無・ 有 (元企業の財務担当・資格取得者)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	100		単位時間
授業計画	4月	財務諸表論の基礎	
	5月	貸借対照表の作成・理論及び演習	
	6月	損益計算書の作成・理論及び演習	
	7月	株主資本変動計算書・理論及び演習	
	8月	キャッシュ・フロー計算書・理論及び演習	
	9月	その他の財務諸表知識及び演習	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次に学んだ簿記の基礎を基に、財務諸表(貸借対照表、損益計算書等)の応用を学び、演習を通じて知識の定着を図る。		
授業目標	財務諸表論関連応用論点知識の定着を図る。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期		
科目名称	一般教養Ⅲ	履修	必履修		
担当講師	工藤正剛・東海林千秋・佐々木茂				
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）				
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数	40 単位時間				
授業計画	4月	文章力養成基礎 業界研究等			
	5月	文章・論文作成、数的処理、企業・業界研究等			
	6月	文章・論文作成、数的処理、企業・業界研究等			
	7月	文章・論文作成 数的処理、企業・業界研究			
	8月	/			
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
授業概要	一般教養として文章力の作成の力をつけるとともに、数的処理の一般教養を学び、将来の就職試験に活かすとともに社会での一般教養を獲得する。				
授業目標	就職試験への対応と一般教養の獲得				
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。				

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	政治学概論	履修	必履修
担当講師	三上博久		
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	20 単位時間		
授業計画	4月	日本国憲法、基本的人権等等	
	5月	国会、内閣、裁判所、地方自治等	
	6月	国際社会と国際政治等	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	日本の政治の基本的知識を習得するとともに、国際社会における政治の動向等も併せて把握する。		
授業目標	政治に関する知識の習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	前期
科目名称	ライフプランニング	履修	必履修
担当講師	佐々木茂、加藤静香		
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	80 単位時間		
授業計画	4月	A分野ライフ B分野 保険 C分野 金融 D分野 税金	
	5月	E分野 不動産 F分野 相続 総まとめ 過去問対策	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会において必要な社会保険の基本的知識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング3級の資格取得を目指す。		
授業目標	ファイナンシャルプランニング3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	資産管理会計論Ⅲ	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂・工藤正剛			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			商業簿記・会計学の応用・演習
	11月			連結会計等応用論点
	12月			過去問対策・総まとめ
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	簿記の基礎的知識を基により高度な商業簿記・会計学について学ぶ。			
授業目標	全経簿記上級または日商簿記1級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	資産管理会計論Ⅳ	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂・工藤正剛			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			工業簿記・原価計算の応用・演習
	11月			意思決定会計等応用論点
	12月			過去問対策・総まとめ
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	簿記の基礎的知識を基により高度な工業簿記・原価計算について学ぶ。			
授業目標	全経簿記上級または日商簿記1級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	資産管理会計論Ⅴ	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂・加藤静香			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	32 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			A分野 ライフ B分野 保険 C分野 金融 D分野 税金
	12月			E分野 不動産 F分野 相続
	1月			総まとめ・過去問対策
	2月			
	3月			
授業概要	社会において必要な社会保険の基本的知識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング2級の資格取得を目指す。			
授業目標	ファイナンシャルプランニング2級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	一般教養Ⅳ	履修	必履修	
担当講師	工藤正剛			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	60 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			時事問題等 語学・論文対策等
	11月			時事問題等 語学・論文対策等
	12月			時事問題まとめ、語学・論文対策等
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	時事等の知識を学び、社会へ出での一般常識を得る。			
授業目標	より実践的な一般常識の習得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期
科目名称	一般教養Ⅴ	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	24 単位時間		
授業計画	4月	/	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
1月	時事問題等 まとめ		
授業概要	時事等の知識を学び、社会へ出での一般常識を得る。		
授業目標	より実践的な一般常識の習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	総合講座A-I	履修	必履修	
担当講師	選択授業担当講師			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			選択科目の講義
	11月			選択科目の講義
	12月			選択科目の講義
	1月			選択科目の講義
	2月			選択科目の講義
	3月			
授業概要	学生が選んだ選択科目について学ぶ。			
授業目標	それぞれの選択科目について理解を深める			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	総合講座B-I	履修	必履修	
担当講師	選択授業担当講師			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			選択科目の講義
	11月			選択科目の講義
	12月			選択科目の講義
	1月			選択科目の講義
	2月			選択科目の講義
	3月			
授業概要	学生が選んだ選択科目について学ぶ。			
授業目標	それぞれの選択科目について理解を深める			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2019年度 シラバス

開講区分	税理士学科	開講時期	後期	
科目名称	財務分析	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	32		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			財務分析の基礎
	2月			実際の企業の財務分析
	3月			
授業概要	簿記や財務諸表論で学んだ知識をもとに実際の企業の財務分析を行う。			
授業目標	実際の企業の財務分析を通じ、企業の財務の良否を理解する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			